

第70回番組審議会議事録

開催年月日：平成26年3月19日（水）16時00分から

開催場所：綾部市並松町 ふしみや

出席状況

委員総数 7名

出席委員数 6名

出席委員の氏名

高崎忍／入澤久美子／関範子／高本克男／西山和人／四方いし江／

欠席委員の氏名

高澤弘明

放送事業者出席者

株式会社エフエムあやべ

代表取締役社長 井関悟

総合制作課 真下 加奈子

議題

1. 開会
2. 2月～3月の番組内容について
3. 来期の番組編成について
4. その他
5. 閉会

平成26年2月～3月放送概要

2月から3月のとれたてリポート隊は、17本の取材・中継を行った。

2011年3月に発生した東日本大震災から3年。被災地の復興が進む中、一方では震災の風化も始まっており、同時にラジオの存在が以前のような状態に戻りつつある。3月11日（火）、「ここに歌あり ここに幸あり しあわせの道しるべ」、「情報キャッチ！とれたてワイド763」「トワイライトナビゲーション763」の放送時間を短縮し、3.11特別編成で放送した。

9時から9時30分、復興FMネットワーク制作「被災地ラジオの三年目」を放送。11時から12時までは、3月6日（木）に行われたJCB A近畿地区協議会制作特別番組「ICTを活用した地区防災とBCP」を放送。14時から17時まで、宮城県仙台市駅内にあるショッピングモールより全国コミュニティ FM 同時放送 特別番組「KIZUNA station」を放送。また、宮城県亙理町の臨時災害放送局「FM あおぞら」と福島県南相馬市の臨時災害放送局「南相馬ひばりFM」のインタビューを放送した。

3月2日（日）、志賀郷会のメンバーが、前回FMいかるが行った菊人形小唄の放送を知り、約84年前に作られ、戦後の町村合併などに伴い、忘れられた存在になっていた「志賀郷村歌」を後世に伝えたいと、FMいかるでの収録を依頼。村歌を覚えておられる志賀郷地区出身者87歳の梅垣さんに歌ってもらい、スタジオ録音を行った。その模様は3月14日（金）に放送。また、FMいかるスタッフが採譜し、五線譜に落とす作業も行った。

3月9日（日）に行われた平成26年3月綾部市議会定例会（日曜議会）の代表質問を3月15日（土）に放送した。（再放送3月23日（日））

また、今年も3月10日（月）から天文館パオとの共同キャンペーン「ディスカバーイカルキャンペーン」を実施。市民から寄せられたイカル目撃情報を、FMいかるの放送とHPにアップする。さらに4月9日（水）は、6回目となるディスカバーイカルツアーを、今年も綾部八幡宮で実施予定。

去る、3月2日（日）綾部市保健福祉センターで開催された「自殺予防対策講演会」を特別放送として放送。今回の講演では、認知症の人と家族の会 京都支部代表 荒牧敦子さんを講師に迎え、介護疲れで共倒れにならないようにと題し、介護疲れの果ての自殺防止を訴えた。

昨年10月から募集を開始した「いかる倶楽部プラス」に初めての応募があり、去る3月13日（木）スタジオにて収録を行った。この「いかる倶楽部プラス」は、パブリックアクセスの一つとして、市民パーソナリティ登場！いかる倶楽部の空き枠を利用して、自分たちの手で番組を作って放送してみたい個人・団体のために年1回30分の放送枠を無償で提供するもの。今回は、東八田小学校5年生13人のクラスで総合的な学習の時間で情報について勉強したことから、自らの手で情報を発信してみようと番組に応募があった。その模様は3月22日（土）12時から12時30分の30分間放送。

2月～3月の主な取材・中継先

2014年1月～2014年3月 取材・中継 20件

2014.3.14 現在

取材 11 件

放送日時	取材日	内容	リポーター
1月31日(金)	1月15日(水)	桂三扇 はじめての落語教室	真下
2月7日(金)	1月31日(金)	上林小 和紙作家と体育館に大壁画を	酒井
2月7日(金)	2月4日(火)	市町村対抗駅伝代表選手 激励	真下
2月27日(木)	2月15日(土)	奥上林「冬あかり」	光枝
2月28日(金)	2月28日(金)	綾部高等学校卒業式	光枝
2月28日(金)	2月22日(土)	市民後見公開講座	三嶋
3月6日(木)	3月1日(土)	図書館のボランティア講座	三嶋
3月7日(金)	2月28日(金)	中丹支援学校中学部 スタジオ見学	真下
3月7日(金)	2月28日(金)	京都府スポーツ賞	真下
3月13日(木)	3月9日(日)	舞鶴引揚記念館企画展 抑留と交流と	三嶋
3月14日(金)	3月2日(日)	志賀郷村歌	酒井

中継 7 件

放送日時	内容	リポーター
2月3日(月)	物部小児童が立命館大学生と交流	三嶋
2月4日(火)	中丹支援学校 製品販売会	真下
2月10日(月)	第59回警察美術展	光枝
2月14日(金)	奥上林「冬あかり」	真下
2月11日(火)	マツモトにてあやべ温泉テリチキ販売	光枝
2月25日(火)	京都府立大学生が綾部で実習	光枝
3月14日(金)	吉美小6年生が卒業記念にイチゴ摘み	真下

旬をお届け！撮れたてあやべ2件

中継日	内容	リポーター
2月11日(火)	京都府原子力総合防災訓練	井関
2月21日(金)	第22回綾部市永井奨励賞子宝ネット	井関

平成26年4月改編の概要

「おはようマイタウン763」・「ここに歌ありここに幸ありしあわせの道しるべ」パーソナリティについては、曜日ごとのパーソナリティとして定着しているため、従来の放送形態を維持。なお、「おはようマイタウン763」は、FMいかるの社員全員が対応出来るよう、週一回パーソナリティとして配置。夕方の番組「トワイライト・ナビゲーション763」は、スタッフの勤務体制変更により、木曜日と金曜日のパーソナリティのみ移動を行った。

	月	火	水	木	金
おはようマイタウン	久木	久木	久木	真下	久木
ここ幸	米村	チャンチャン	橋本	衣川	梅原/村上
とれたてワイド	澤田×酒井・三嶋	酒井×光枝	光枝×酒井	光枝×三嶋	光枝×三嶋
トワナビ	真下	三嶋	下田	光枝	酒井

その他

【思い込み難聴対策】

昨年の台風18号災害でラジオの注目度が上がる一方、ラジオが聞こえないという問題が顕在化した。災害時に防災行政無線に加えて複合的な情報提供の一端を担うため、中継所建設を具体化していくと同時に市民の受信環境の意識改善に取り組み、思い込み難聴対策を行う。また、防災ラジオの周知を図りその必要性も訴えていきたい。

【近畿コミュニティ放送賞】

第16回 JCBA 近畿コミュニティ放送賞は、4月25日(金)兵庫県姫路市で予定されている。FMいかるからは、情報・教養番組部門に番組「撮れたて あやべ 第15回放

送【水源の里でボランティア体験】、娯楽番組部門「朝風呂のど自慢 in 大家族の湯」、特別番組部門には「自殺予防特別番組【気づいてあげて、身近な人のSOS】」、CM部門「軽未使用車専門店 ドリーム」、放送活動部門「中丹支援学校に東北のりんごを送ろう」をエントリーした。

【第30期市民パーソナリティ】

エフエムあやべは、市民の方の放送参加を放送方針のひとつにし、市民の方にパーソナリティ体験をしていただく「市民パーソナリティ登場！いかる倶楽部」の第30期市民パーソナリティを募集。今回は2組の応募があり、これまでの22組にあわせて計24組が、4月より放送する。3月15日（土）は新市民パーソナリティのスタジオ体験と講習会を行った。

【聴取率調査】

平成22年に実施した聴取率調査を5月に実施予定。放送内容、中継所建設の検討材料として、また営業データとして活用する。

<第1議事>

- ・パブリックアクセスを進めるため、市民がパーソナリティとなって30分の番組を担当する「市民パーソナリティ登場！いかる倶楽部」の放送空き枠を活用し、自分たちの手で番組を作って放送してみたい個人・団体に年一回30分の放送枠を無償提供する「市民パーソナリティ登場！いかる倶楽部プラス」の取り組みは、今後、全小学校で実施を希望する。また、中学校や高校でもその輪を広げてほしい。
- ・ラジオの聞き方がわからない若者がいると聞いて、驚いた。

<第2議事>

- ・制作スタッフは、各番組に出演するパーソナリティの取りまとめをしながら、新しい企画に取り組むことは、かなりの労力がかかる事だと思うが、その努力が伝わってくる。

<第3議事>

- ・市民パーソナリティの採用について、声質や資質などの採用基準はあるのか。→経験を積むと技術が上がる。声質が良いから、人気があるとは限らない。
- ・ラジオ配布について綾部市の補助は受けられないのか。今後、オフトークの廃止に伴い、FMいかるの存在意義が試される。→他市では、ラジオ購入のため、割引や無償提供、条件付き無償提供などがある。
- ・綾部市にできる物産館設立に伴い、取材は考えられているか。→サテライトスタジオを設けることを検討している。また、物産館で販売する商品の一つとしてキャラクターTシ

シャツがあり、いかるのキャラクターもTシャツのイラストに入っている。

・グンゼの精神は、今ある綾部の企業に根付いている。今後、大企業の誘致は難しいと考えられる。大企業からの高額な宣伝費を期待できないため、市民でラジオ局を支えあう機運を高めるため、賛助会員のようなサポーターを募ってはどうか。

・消防団の詰所にラジオが設置されていない個所もあるため、夜中に出動がかかった時、情報不足になるケースがある。FMいかるは、災害や警報発令時に、通行止めや水位などの情報を細部にわたり放送されているので、今後、詰所にラジオの設置を提案したい。有事にラジオがあると心強い。

・必要な機関・施設に早急にラジオを貸与してほしい。

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

該当事項無し

審議機関の答申又は意見を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

公表内容

第70回番組審議会審議概要

公表方法年月日

- ・ 会社（事務所）に備え置き 平成26年3月31日
- ・ ホームページ 平成26年3月31日
- ・ 放送番組で放送 平成26年3月31日（番組名：月日星通信）

その他参考と事項

該当無し

平成26年3月31日

上記のとおり相違ないことを確認する。

第69回番組審議会議事録署名委員

高本 克男 印

入澤 久美子 印